

施策目標個票

(国土交通省26-④)

施策目標	技術研究開発を推進する	
施策目標の概要及び達成すべき目標	技術研究開発の成果をタイムリーに社会に還元していくため、目標を適切に設定し、それに基づいて技術研究開発を効果的・効率的に推進する。	
評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) ②目標達成 (判断根拠) 業績指標の実績値は、施策目標の達成に向けて着実な成果を示しているため。なお、目標を大幅に上回って達成されたとは認められないため、「①目標超過達成」には該当しない。
	施策の分析	国土交通省技術基本計画に基づいた施策の着実な展開により、業績指標の実績値は、施策目標の達成に向けて着実な成果を示している。
	次期目標等への反映の方向性	今後とも、技術研究開発の成果をタイムリーに社会に還元していくため、着実な施策の実施が必要であり、国土交通省技術基本計画(平成24年12月策定)に基づき、技術研究開発の特性に応じた施策を展開する。

業績指標	162 目標を達成した技術研究開発課題の割合	初期値	実績値					評価	目標値
		—	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度		毎年度
	年度ごとの目標値	—	95.7%	87.2%	97.9%	94.4%	A	80%	

施策の予算額・執行額等 【参考】 ※下段<>は書きは、複数 施策に関連する予算であ り、外数である。	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求額
	予算の 状況 (百万円)	当初予算(a)	20,371 <452>	19,675 <225>	20,332 <234>	20,022 <282>
補正予算(b)		△ 289 <△17>	2,333 <0>	1,052 <0>	- <0>	
前年度繰越等(c)		3,216 <0>	1,955 <0>	2,406 <0>	- <0>	
合計(a+b+c)		23,297 <435>	23,963 <225>	23,790 <234>	20,022 <282>	
	執行額(百万円)	21,100 <435>	21,311 <225>			
	翌年度繰越額(百万円)	1,955 <0>	2,406 <0>			
	不用額(百万円)	243 <0>	246 <0>			

学識経験を有する者の知見の活用	国土交通省政策評価会(平成27年6月23日)
-----------------	------------------------

担当部局名	大臣官房 総合政策局	作成責任者名	大臣官房技術調査課 (課長 五道 仁実) 総合政策局技術政策課 (課長 吉田 正彦)	政策評価実施時期	平成27年8月
-------	---------------	--------	---	----------	---------

業績指標 162

目標を達成した技術研究開発課題の割合

評 価

A	目標値：80%（毎年度） 実績値：97.9%（平成25年度） 94.4%（平成26年度） 初期値：—
---	---

（指標の定義）

当該年度に事後評価を実施した技術研究開発課題のうち、外部評価により「目標を十分達成した」または「概ね目標を達成した」と評価された技術研究開発課題の割合

（目標設定の考え方・根拠）

技術研究開発の成果をタイムリーに社会に還元していくためには、目標を適切に設定し、効果的・効率的に実施することが重要である。この観点から、以下のとおり目標を設定した。

当該年度に事後評価を実施した技術研究開発課題のうち、目標を達成した技術研究開発課題の割合を業績指標として設定し、毎年度、80%以上達成することを目標とした。

実績値の算定にあたっては、外部評価にて個別研究開発課題ごとに「目標を十分達成した」、「概ね目標を達成した」、「あまり目標を達成できなかった」、「目標を達成できなかった」の4段階で評価し、そのうち「目標を十分達成した」または「概ね目標を達成した」ものを「目標を達成した」ものとする。

なお、平成23年度より設定した目標のため、平成22年度以前の実績値については、記載していない。

（外部要因）

- ・設備の故障等の不可抗力
- ・資機材の入手難等

（他の関係主体）

なし

（重要政策）**【施政方針】**

なし

【閣議決定】

なし

【閣決（重点）】

なし

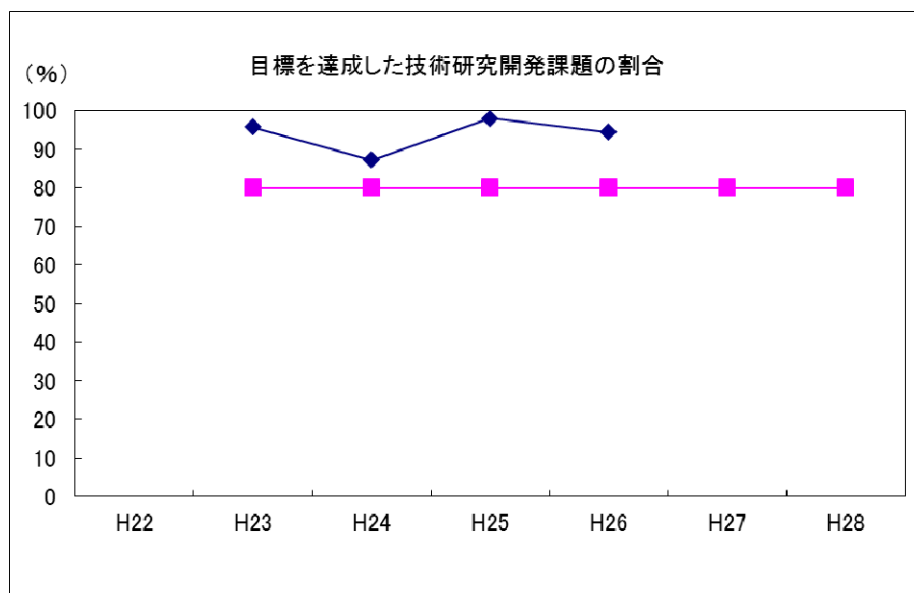
【その他】

なし

過去の実績値

(年度)

H22	H23	H24	H25	H26
—	95.7%	87.2%	97.9%	94.4%



事務事業等の概要

主な事務事業等の概要

技術研究開発の推進に必要な経費

予算額：

2,761百万円（平成25年度）

2,519百万円（平成26年度）

関連する事務事業等の概要

該当なし

測定・評価結果

目標の達成状況に関する分析

（指標の動向）

「順調」

平成26年度については目標値を達成している。

（事務事業等の実施状況）

目指すべき社会の実現のため、様々な要素技術をすり合わせ・統合し、高度化することにより、社会的な重要課題を解決し、国民の暮らしへ還元する科学技術を推進している。

平成26年度は、54件の研究開発課題の事後評価が実施され、そのうち51件が「目標を十分達成した」、「概ね目標を達成した」と評価された。

なお、個別の研究開発課題では、評価の実施にあたっては別途外部の専門家の知見を活用した評価（外部評価）が行われており、研究開発課題の結果については、

<https://www.mlit.go.jp/common/001085131.pdf>

に掲載している。

課題の特定と今後の取組みの方向性

業績指標については、平成26年度の目標値を達成していることから、引き続き技術研究開発を推進していくこととし、Aと評価した。

平成27年度以降における新規の取組みと見直し事項

（平成27年度）

なし

（平成28年度以降）

なし

担当課等（担当課長名等）

担当課：大臣官房技術調査課（課長 五道 仁実）

総合政策局技術政策課（課長 吉田 正彦）

関係課：鉄道局技術企画課技術開発室（室長 岸谷 克己）

海事局海洋・環境政策課技術企画室（室長 河野 順）

国土技術政策総合研究所企画部研究評価・推進課（課長 荒井 知己）

国土地理院企画部企画調整課（研究企画官 永山 透）